

実力テストの勉強方法 大切なこと (1)計画 (2)習慣 (3)方法

	勉強の仕方（範囲）	ポイント
国語	○ 範囲：今までの授業で習ったところまで。 ○ 学習例 ・ 3年間の総まとめ問題集を使用しての学習・復習。 ・ 漢字の復習。 ・ 文法の復習。 ・ 古典の読み方の復習。（eライブラリも活用してみよう。）	・ 漢字は、漢字の完全マスターの「基本編」と今年使用する「漢字と語句」の問題集の内容を学習しておきましょう。 ・ 文法問題は、「識別」問題が出題される傾向が多く見受けられます。文節などの基本的なことを押さえつつ、識別問題に挑戦しましょう。（中学国文法 P86～89・3年間の総まとめ問題集 P92～P95）
	・ 読解問題の復習は、内容をまとめる（要約）することが効果的です。読み解いた問題の文章を、200字程度でまとめるなど、字数を設定して書いてみましょう。要約の添削も依頼があれば応じます。	
社会	1年生の「地理」～現在学習している授業のところまでが、範囲となります。広い範囲を学習するためには・・・「浅く広い学習」を何度も積み重ねる。がおすすめです。 ・ 問題集の基本の問題だけをやる。 ・ 用語集を利用する。 ・ 過去の定期テストをもう一度やってみる。など、最初から狭い範囲を詳しく学ぶよりは失敗が少ないです。歴史は小学校の問題集もおススメです。	まずは、基本の一問一答から復習しましょう。実力の問題（入試の問題）は見た目難しそうでも、最終的にきかれていることはそんなに複雑ではないことが多いです。また、問題集やeライブラリなど、問題を解いたときに「◎きちんとわかっている。漢字も書ける」「○選択問題なら解ける」「△たまたまぐれで正解する」など、<u>点数だけでなく、実際その問題が解けるかどうか、自分をごまかすことなく向き合うことが大切です。</u>
数学	<手順1> ★単元ごとに、内容(解き方、定義、定理)を覚え直す。 ※ノート、単元プリント、教科書、問題集を利用。 <手順2> ★問題練習する。 ※1、2年の問題集、定期テスト、単元プリント、教科書、などを利用。 ☆範囲は3年生で、習ったところまで。	・ 1年生の単元から、基本と応用に分けて覚え直す。 ・ 「分かる」ところより、「分からない」ところが大切。 ・ 自分に合った方法、順番で練習する。 ・ 「分かる」問題より「分からない」問題が大切。 ・ ノートに、しっかり途中の式や考え方も書いて練習する。 ★計画を立てて勉強すること。

理科	第1回 中3生物遺伝まで 第2回以降 既習範囲すべて 学習方法は青の問題集「これで完ペキ理科」を解く。解けなかった問題を数日後、何度かやり直す。 中3の授業は、通常の定期テストの学習が、受験への客観学力へと直結するので、いままで以上に気をひきしめて、自分の力につながるように学習を進めること。実力テスト返却後は、返却後の点数のあと10%分の点数をとるためには何が必要だったか反省をすること。反省だけで終わらず、反省して計画を実行すること。これは、受験だけでなく、あなたの人生にとってとても大切なスキルです。 昨日の自分をほめながら、今日をひたすらに走りつづけなければいいのです。走り方がわからなければ、教えます。	受験期直前は、プレッシャー、緊張、自信がないと精神的に追い詰められます。そこで、自信となる証拠を残していきましょう。 解いた問題集をとっておいてその量を目で見て確認する。 毎日、学習したことを記録しておく。参考書、問題集がぼろぼろになるまで解きこんでお守りとして受験会場へ。まずは、考えずにすること。 目の前にあることを片付けていくこと。目標をもっているなら、そこから逃げないこと。 志望校は夢ではありません。夢は人が見ると、儚いのです。志望校を目標に、母校へと変えていきましょう。その手助けはいくらでもしますよ。
英語	・ 1年から学習した範囲すべて。 ・ 初見の長文、リスニング、英作の問題を出題します。 ・ 知識・理解の問題（文法・単語）は問題集から一部出題します。しっかり考えてとりくみましょう。 【第1回の範囲】 1, 2年の学習範囲 ・ めきめき2年 p148～153（めきめき3年、1, 2年復習） ・ これで完ペキ 1b e動詞～19受け身形A問題 ※第2回以降は、英語科通信で確認しましょう。 ※わからなかった問題は、解説を読んだり、質問したりして「なぜそうなるか」を考え、ルールを覚えていきましょう。	<積み重ねて、力をつけよう> ・ <u>問題集で計画的に1年生の内容から復習していこう。</u> ・ <u>単語は、英語の重要ポイント。</u>単語がわからなければ何もできません。教科書を読んで、意味が分からない単語をチェックし、覚えていこう。基本単語・動詞の変化は書けるようになろう。 ・ 長文問題は、短めの問題から始めて、解き方のコツをつかんでいきましょう。 ・ 英作文は、Small Talk の話題を <u>30語程度の文になることを意識</u>して考え、実際に書きとめていきましょう。徐々に語数を増やしていこう。 ・ 英語は分野がない、覚えたことを使って解く<u>総合力</u>を問われます。後半は、入試形式の問題にもとりくんでいきましょう。

You can do it ! あなたなら できる !